相談室だより

令和6年 12 月2日
惜陰小学校 相談室

こんにちは、相談室です。11月の教育相談週間では、担任とお子さんが1対1で面談をすることができました。12月には教育懇談会があります。短い時間ではありますが、お子さんのよりよい成長のために、おうちの人と有意義な話し合いができればと思います。

年末年始は家族で過ごし、お子さんとのコミュニケーションを密にできる絶好の機会です。子どもたちが心の栄養を満タンにして、元気に3学期をスタートできるように願っています。

髙田道洋スクールカウンセラーより

今月も1つの症状を取り上げて考えていきたいと思います。今回は『吃音』です。

吃音とは、なめらかに話すことができない状態のことで、

①最初の音を繰り返す　②音を伸ばしてしまう　③言葉に詰まってしまう　④「サ行」などの特定の音や言葉を出すのは苦手である、など症状は様々です。

そのうち、苦手な音を避けて別の言葉に言い換える方法を身に着けていくそうですが、頭の中で常にその作業をしているので、吃音の人は、1日が終わる頃にはぐったりとしてしまうとも聞いたことがあります。 周囲の方は話し方を注意せずに、話す内容に注目し、ゆっくり聞いてあげる姿勢が必要です。気になる際には、市保健センター「ことばの教室」や言語聴覚士のいる医療機関などにご相談ください。吃音の方々のサークルに参加するということもひとつかもしれませんね。

社会人になっても症状が続く場合もあります。以前、新聞でこのような記事を読みました。

＝吃音とともに生きる＝

『しゃべるのは苦手だけど、自分が切り開いていく。「聴く」力を強さに看護師の道を。も どかしさは常にある。だけど、手ごたえを感じている。傷ついた様々な体験も、今はチャレンジする精神に変えられる。誰かのために役に立ちたい!それが今の自分の原点です』

とそう記載されていました。

この記事を読み、お互いの持ち味を大事にする、そんな社会でありたいと強く感じました。

12月のカウンセラー来校日

髙田道洋（たかだみちよ）カウンセラー

12月12日（木）10：30～13：30

19日（木）教育懇談会13：00～17：00

宮下友里（みやしたゆり）カウンセラー

12月3日（火）・10日（火）9：30～13：30

18日（水）　教育懇談会13：00～17：00